

## 第三者保証

当社は、サステナビリティレポート2021に記載の2019年および2020年GHG排出量、エネルギー使用量ならびに水使用量に関するデータについて、ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド(LRQA)による第三者保証を受けています。



### LR 独立保証声明書

#### キャノン株式会社のキャノンサステナビリティレポート 2021 に掲載される 2019 年及び 2020 年環境データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいてキャノン株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

##### 保証業務の条件

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド（以下、LR という）は、キャノン株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、キャノンサステナビリティレポート 2021 に掲載される 2019 年（2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日）及び 2020 年（2020 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日）の環境データに対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE3000 及び GHG については ISO14064-3 を用いて、限定的保証レベルの独立保証業務を実施した。

LR の保証業務は、会社の日本国内外における運営及び活動に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 以下の選択されたデータに対して、会社の定める報告基準への適合性の検証
- 報告書に記載された GHG 排出量が、ISO14064-1:2006 「組織における温室効果ガスの排出量及び吸収量の定量化及び報告のための仕様並びに手引」に準拠し、GHG プロトコルの「企業のバリューチェーン（スコープ 3）の算定及び報告に関する基準」を参照していることの検証
- 以下の環境指標に関するデータ<sup>1</sup>の正確性、信頼性の評価
  - GHG スコープ 1 排出量（トン CO<sub>2</sub>e）
  - GHG スコープ 2 排出量（マーケットベース及びロケーションベース）（トン CO<sub>2</sub>e）
  - GHG スコープ 3 排出量 カテゴリー 1～15<sup>2</sup>（トン CO<sub>2</sub>e）
  - エネルギー消費量<sup>2</sup>（TJ）
  - 水使用量<sup>2</sup>（m<sup>3</sup>）
  - 連結売上あたり GHG 排出原単位（トン CO<sub>2</sub>e/億円）

LR の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及される第三者に関するデータや情報は対象としていない。

LR の責任は、会社に対してのみ負うものとする。脚注で説明されている通り、LR はそれ以外のいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析及び公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

##### 検証意見

LR の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 会社の定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

**注:** 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

<sup>1</sup> GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

<sup>2</sup> 2020 年データのみを検証した。



### 保証手続

LRの保証業務は、ISAE3000及びGHGについてはISO14064-3に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRは、内部検証を含め、データの取り扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データを集計し、報告書を作成する主要な関係者へのインタビューを実施した。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 集計された2019年及び2020年のGHG排出量、エネルギー使用量、水使用量、連結売上あたりGHG排出原単位並びに関連記録を検証した。
- COVID-19の世界的な感染拡大に伴う、会社の「訪問者の職場への入場制限」の実施により、福島キヤノン株式会社、およびキヤノン株式会社・本社に対するデータマネジメントシステムの有効性の確認は、電子メール、電話、WEB会議システムを使用したリモート検証により実施した。

### 観察事項

保証業務における観察事項及び発見事項は以下の通りである。

会社は、GHG排出量、エネルギー消費量、水使用量のデータ管理について、引き続きデータと情報管理における品質管理、品質保証に努めることが望まれる。その際、会社本体、グループ会社の内部検証をより引き続き効果的にすることが期待される。

### 基準、適格性及び独立性

LRはISO14065 温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項、ISO17021-1 適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項の認定要求事項に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名

2021年3月15日

飯尾隆弘

飯尾 隆弘

LR 主任検証人

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド  
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LR Reference: YKA4005113

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Limited (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract. The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register Group Limited assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © Lloyd's Register Quality Assurance Limited, 2021. A member of the Lloyd's Register Group.